

2022 令和4年

- 3月 新・厚木北児童館オープン
- 4月 パートナーシップ宣誓制度スタート
- 8月 新・北部学校給食センターオープン

2023 令和5年

- 3月 厚木のどん漬が文化庁の100年フードに認定
- 5月 新型コロナウイルス感染症が5類に移行
- 7月 秦野・伊勢原市、愛川町、清川村と県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定締結



- 10月 子どもの医療費助成を18歳まで拡大

2024 令和6年

- 4月 小・中学校の給食費を無償化



- 7月 複合施設の建設工事着工
厚木が舞台の映画の製作決定

- 11月 厚木市民朝市50周年



2025 令和7年

- 1月 文化会館リニューアルオープン
- 2月 市制施行70周年



2016 平成28年

- 3月 あつぎこどもの森公園オープン



2017 平成29年

- 12月 新・市立病院全面オープン



2018 平成30年

- 1月 新東名高速道路・厚木南IC～海老名南JCTが開通

2019 平成31年

- 1月 あつぎ郷土博物館オープン



2019 令和元年

- 12月 新型コロナウイルス感染症発生

2021 令和3年

- 6月 広報あつぎが全国広報コンクールで県内初の内閣総理大臣賞を受賞



- 7月 東京2020五輪・パラリンピック開催(2016年1月、ニュージーランドのホストタウンに登録)

2000 平成12年

- 4月 ぼうさいの丘公園オープン



2002 平成14年

- 4月 特例市としてスタート



2003 平成15年

- 4月 市立病院開設(県から移譲)



2008 平成20年

- 11月 あつぎ国際大道芸開始

2009 平成21年

- 7月 プラネタリウム・コスモシアターオープン

2010 平成22年

- 8月 あつぎジャズナイト開始
- 9月 B-1グランプリを首都圏初開催
- 11月 セーフコミュニティ認証取得
- 12月 あゆコロちゃん誕生



2011 平成23年

- 3月 東日本大震災(市内は震度5弱を観測)

2013 平成25年

- 3月 圏央厚木インターチェンジ開通

2014 平成26年

- 4月 アミューあつぎオープン



1982 昭和57年

- 3月 小田急線本厚木駅ビル完成

1985 昭和60年

- 2月 厚木シティプラザ全館オープン



1987 昭和62年

- 6月 七沢自然教室(七沢自然ふれあいセンター)オープン

1989 平成元年

- 10月 荻野運動公園競技場オープン



1991 平成3年

- 7月 20万人目の市民誕生



1996 平成8年

- 2月 あゆみ橋開通
- 8月 市ホームページ開設

1997 平成9年

- 4月 厚木中央公園全面オープン



1998 平成10年

- 10月 かながわ・ゆめ国体開催(市内ではソフトボール、ソフトテニス、弓道を実施)



1966 昭和41年

- 6月 もぐり橋(相模小橋)開通



1968 昭和43年

- 4月 東名高速道路・東京～厚木間が開通

1969 昭和44年

- 2月 市の花「さつき」、市の木「もみじ」制定
- 3月 国道271号(小田原厚木道路)開通
- 8月 新国道129号(通称厚木バイパス)開通



1970 昭和45年

- 12月 市庁舎が完成
市民マラソン(厚木マラソン)開始



1974 昭和49年

- 11月 厚木市民朝市開始



1976 昭和51年

- 6月 小田急線本厚木駅の新駅舎完成

1978 昭和53年

- 11月 文化会館オープン



つながるあつぎ 70年

厚木市は1955年2月1日、1町4村が合併し県下13番目の市として誕生しました。70年にわたる市の歩みをたどります。

1955 昭和30年

- 2月 厚木市誕生
(厚木町、南毛利村、睦合村、小鮎村、玉川村が合併)



- 6月 相模大橋開通

- 7月 相川村、依知村を編入

1956 昭和31年

- 2月 市政だより(広報あつぎ)発行開始



- 9月 荻野村を編入

昭和34年 市の広報車



1964 昭和39年

- 8月 国道246号(東京～沼津)全線開通